

教授人事について

令和5年3月末で定年退職された吉羽邦彦先生（口腔生命福祉学科 口腔保健学講座）の後任として、吉羽永子先生が着任されました。

名誉教授称号授与について

2024年3月末をもって本学を退職された小林正治先生、齋藤功先生、魚島勝美先生に名誉教授の称号が授与されました。

令和6年度科学研究費助成事業採択結果について

令和6年度科学研究費助成事業採択結果が発表されました（2024年4月交付内定時点）。新潟大学全体での新規採択件数は207件（前年比40件増）、配分予定額は4億8千7百万円（前年比1億6千2百万円増）、基盤（A）、学術変革（A・B）などの大型種目採択件数は10件（前年比6件増）と前年から大きく飛躍しました。歯学部における新規採択件数・採択率は21件（前年比16件減）・29.2%、大型研究の新規採択件数・採択率として、基盤（B）が4件（前年比1件増）・25.0%、病院歯科の新規採択件数・採択率は23件

（前年比6件増）・56.1%でした。このうち若手研究の新規採択件数・採択率は歯学部6件（5件増）・46.2%、病院歯科16件（1件減）・61.5%でした。

なお中区分（口腔科学およびその関連分野）別にみた過去5年間の新規採択累計数では、新潟大学歯学部の新規採択件数223件（第5位）、配分額428,700,000円（第3位）、1課題当たりの配分額1,922,422円（第3位）、採択率47.3%（第1位）となっています。

インドネシア・アンダラス大学歯学部との 部局間交流協定

歯学部では国際ネットワークの構築を進め、教員の学術交流、学生の交換留学を進めています。

このたび、インドネシア・アンダラス大学との部局間交流協定を締結しました。

アンダラス大学は、医学、理学、工学、法学、経済学部などを有する総合大学であり、ことに医学部では、スマトラ島における地域の医療と健康に多大な貢献を果たしています。同大学歯学部は、地域の要請を受けて2012年8月に同大学の13番目の学部として開設され、世界的に競争できる医療機関・研究機関を目指しベトナムホーチミン医科大学歯学部との協定を結ぶなど、同大学のビジョン達成に向けた活動が盛んになっています。2024年4月20日に、井上学部長がインドネシア・アンダラス大学のNila Kasuma歯学部

長と対談し、学術交流を進めたいとの意向をうかがう中で部局間交流協定の合意が得られ、このたびの締結にいたりました。



国際シンポジウム開催について

2024年5月31日・6月1日の2日間の日程で、部局間交流協定締結校であるタイ・マヒドン大学歯学部との共催により国際シンポジウム「International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2024」がタイ・バンコクにて開催されました。本シンポジウムは、口腔保健、歯科医療分野における若手人材育成とアジア地域を中心とした共同研究ネット

ワーク形成を目的に新潟大学歯学部が開催しているもので、COVID-19パンデミックが収束する中で、昨年オンラインにより再開し、今回4年ぶりの現地開催となりました。本学歯学部からは、教職員23名、大学院生24名が参加し、アジア各国、地域からはASEAN諸国をはじめ、香港、台湾、ネパールから、欧州からはルーマニアからも参加者があり、各大学歯学部長を含め総勢150名以上の研究者が集い、交流を深めました。



QSランキングについて

このたび、今年度の分野別QS世界大学ランキングが公表され、歯学分野において、新潟大学歯学部は大阪大学歯学部、東北大学歯学部とともに日本で第2位、世界第51-80位にランクされました（<https://www.topuniversities.com/subject-rankings>）。QSランキングとは、英国の世界大学評価機関クアクアレリ・シモンズ

(QS) がAcademic reputation（研究者による評価）、Employer reputation（雇用主による評価）、Citations per Paper（論文の被引用数評価）、H-index Citations（H-indexに基づく研究評価）、総合評価などをもとに毎年発表している大学ランキングであり、世界で最も広く使われている大学評価指標のひとつです。

新潟大学歯学部オープンキャンパス2024

新潟大学歯学部オープンキャンパスが、8月8日（木）、9日（金）の両日開催されることとなりました。今年は対面型（事前申し込み必要）の

みの実施を予定しており、両日ともに午前、午後の2回のイベントとなります。